



次代を担う子の出産を奨励

赤ちゃんほほえみ応援金第7子贈呈



6月23日、市役所公室で、赤ちゃんほほえみ応援金贈呈および家族との語らいの会を行いました。

この応援金は、第3子以降の新生児出産に対して支給するもので、お子さんの人数に応じて支給額が大きくなります。

令和5年度に創設して以来、今回が初めての第7子応援金贈呈となりました。

おいしい防災塾

お菓子ポシエット作り



6月22日、美山コミュニティセンターで、子ども会育成協議会イベント「おいしい防災塾」お菓子ポシエット作りを開催しました。

一般社団法人「おいしい防災塾」代表理事の西谷真弓さんを講師に招き、災害時の備えなどをクイズ形式で学びました。また、自由が丘産能短期大学校友会から頂いたお菓子で防災お菓子ポシエットを作り、制作したポシエットは災害時に食べるお菓子として持ち帰りました。

東京で堂々披露

伊自良十六拍子が観客を魅了

／表紙掲載／



6月29日、東京の高輪ゲートウェイシティで行われたMATSURI JAPAN 2025に、伊自良十六拍子が招待を受け、1,000人を超える観客の前でパフォーマンスを披露しました。

MATSURI JAPAN 2025は、日本各地の祭りを一堂に集めて披露するイベントです。

伊自良十六拍子の太鼓の音色や迫力のある竜廻しに、満員の会場からは大きな拍手と歓声が送られました。

市内郵便局がクーリングシェルターに

日本郵便株式会社東海支社と協定締結



6月26日、市役所公室で、日本郵便株式会社東海支社と気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定締結式を行いました。

熱中症特別警戒アラート発令時はもちろん、アラート運用期間中（4月23日から10月22日）は、暑さをしのぐ場所として市内全8局の郵便局が開放されます。美山南郵便局局長の金森誠人さんは「暑い時には気軽に郵便局を利用してほしい」と話されました。

感謝の気持ちを込めて

いも餅とくわの実ジャムづくり



6月26日、伊自良南小学校の2・3年生の児童が、伊南ライスセンターの村橋さんの畑で収穫した作物を使って調理を行いました。

2年生児童は、じゃがいもを使っていも餅を作りました。試食を通して、村橋さんが自然農法で育てたこだわりのじゃがいものおいしさを実感しました。3年生児童は、調理したジャムをクラッカーに乗せて試食し「甘くておいしい」と感謝の気持ちを表していました。

株式会社尾張紙業が

企業版ふるさと納税で寄付



6月25日、株式会社尾張紙業から企業版ふるさと納税として寄付があり、感謝状を贈呈しました。

同社は、リサイクル関連企業として、製紙原料の供給や古紙回収など多岐にわたる事業を展開されており、市内にもリサイクルボックスを設置いただいています。このたび、市が取り組む生き生きと安心して働けるしごとづくり事業（治山林道事業）に賛同し、寄付されました。

いじめを絶対に許さない学校を目指して 梅原小学校でいじめを考える



7月3日、梅原公民館で、一般社団法人これから未来の理事である篠原真紀さんをお招きし、梅原小学校全校児童と保護者、地域の方が、いじめに関する講演を聞きました。

篠原さんは、お子さんはいじめによる自死で亡くされた経験から、いじめが発生しないためにはどうすれば良いのかなどを話されました。また、「つらいことがあったら親や先生など近くの大人に相談してほしい」と語りかけました。

戦後80年の奇跡 戦没者遺族へ日章旗返還



7月1日、当市出身で先の大戦で戦死された故佐野庫太郎さん所有の日章旗が米国から返還され、山県市遺族連合会の武山茂活会長から遺族の佐野公泰さんに手渡されました。

日章旗は、戦争に出征する兵士の武運長久を祈り、家族や地域の人が署名やメッセージを寄せ書きしたものです。このたび、遺留品を遺族に返還する活動を行うOBCOZソサエティや遺族会などの協力で返還が実現しました。

新商品開発に向けて 地元飲食店との試食交流会



7月1日、岐阜城北高校の2・3年生の生徒が、市の食材を使った新商品開発を始めるにあたり、市内飲食店と試食交流会を行いました。

生徒は、市内飲食店の人に客層や人気商品など店の現状についてインタビューを行い、テーマやコンセプトを明確にしました。

最後に昨年度開発した新商品などの試食を行い、「過去の例やお店の人に協力してもらえ、ことを知ってやる気が出た」と話しました。

日本の文化に親しむ 大桑小学校 琴の演奏体験学習



7月9日、大桑小学校の3・6年生の児童が、公益社団法人当道音楽会の菊大路志野さんを講師に招き、琴の演奏体験学習を行いました。

菊大路さんは、日本の伝統和楽器を身近に感じてもらいたいとの思いから、小中学校で琴の授業を展開されています。

児童は、美しい姿勢を意識しながら練習を何度も重ね、力強く「さくらさくら」を演奏し、伝統的な和楽器の音色を響かせました。

神崎川ってすごい いわ桜小学校 カワゲラウォッチング



7月4日、神崎川で、いわ桜小学校の全校児童が、環境省環境カウンセラーの福田英治さんを講師に招き、カワゲラウォッチングを行いました。

児童は、タモを使ったり、石の裏を見たりして、カワゲラを始めとする川の生き物を探取し、その種類や数を調べることで、神崎川を流れる水がとてもきれいであることを確かめることができました。

学んでチャレンジ 桜尾小学校 バレー教室



7月4日、桜尾小学校で、JAぎふりオレーナの選手によるバレー教室が開かれ、全校児童が参加しました。

この活動は、スポーツの楽しさを知り、将来の夢を膨らませるきっかけとなることを目指しています。当日は、トスやレシーブのコツを教わり、実際に練習に取り組みました。また選手との交流の時間には、なぜバレーボールを始めたのかなど、多くの質問をしていました。



災害時のライフラインを維持 株式会社平和堂と協定締結



7月17日、市と株式会社平和堂が災害時における生活物資の確保および調達に関する協定書締結式を行いました。

この協定は、災害時に同社が保有する食料品、衣料品などの生活物資の提供を行うことで、災害応急・復旧対策を円滑に進めることを目的としています。小椋秀男総務部長は「地域の安心安全が商売の基礎。ライフラインとしての役割を果たしたい」と話されました。

災害時等のドローン運用 キミドリ建築と協定締結



7月17日、市とキミドリ建築が災害時等におけるドローンによる活動協力に関する協定書締結式を行いました。

この協定は、同社の日本最大級のドローンにより災害時の映像提供や、物資の運搬、搬入などを行うことで、災害応急・復旧対策を円滑に進めることを目的としています。恩田吉行社長は「ドローンを活用し、人や市の発展に貢献したい」と話されました。

データを活用した教育 こどもデータ連携成果報告会



7月9日、こども家庭庁の支援を受け、福祉部局や岐阜大学、関連企業と連携してデータを活用した教育を行う「こどもデータ連携実証事業」の成果報告会を行いました。

令和5年度から実施したこの事業はデータを活用して一人一人の姿を捉え、SOSの早期発見・早期対応に生かすものです。当日は、山県学園構想とデータ連携を組み合わせた取り組みの成果発表やシンポジウムを行いました。

全国道場少年剣道大会 出場者激励会

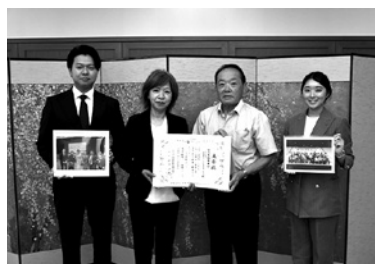


7月25日、市役所公室で、第59回全国道場少年剣道大会（7月29日東京都で開催）に高富小学校の旭澄麗さんと驚見幸祐さんが出場することを受け、激励会を行いました。

二人は、県の代表チームである清心会の一員として大会に出場します。

二人に意気込みを聞くと「いつもの練習の成果を出して、1回戦を突破したい」と力強く語りました。

一般社団法人若者サポートnanairo 第63回社会貢献者表彰受賞



7月22日、一般社団法人若者サポートnanairoが、第63回社会貢献者表彰を受賞されたことを受け、市長を表敬訪問しました。

同法人は、「誰もが自分の色で輝けるように」と、生きづらさを抱えた主に障がいのある人が、地域で安心して暮らせるように活動しています。また、地域の病院と連携し、精神科の訪問看護を24時間365日体制で始めるなどの功績が認められ、このたびの受賞となりました。

親子で涼しく、夏を満喫 こども水の日



7月18日、親子で涼しく夏を楽しむためのイベント「こども水の日」を開催しました。

参加者の中には浴衣や甚平を着て参加した人が多くみられ、自然素材を使ったワークショップやこどもプール、水風船すくいなどを楽しみました。

また、一般社団法人装賀きもの学院の協力により、打ち水体験を開催し、打ち方を教わった後、参加者全員で元気に打ち水を行いました。